

第6回白石町総合計画審議会 会議録（要旨）

■日 時 令和8年1月27日（火） 午後7時00分～午後8時18分

■場 所 楽習館 研修室

■出席者 委員：17人出席

町：副町長、企画財政課職員5人

○開会

【進行：企画財政課課長補佐】

○会長挨拶

会長から挨拶

～資料の確認～

○審議事項

進 行：ここからは会長に会議の議長をお願いします。

会 長：（1）基本計画（案）について

事務局：～資料をもとに説明～

会 長：事務局から説明があったが、当日資料配布であるので、目を通す時間を10分間設けます。その後質問を受け付けます。

～10分間お目通し～

会 長：それでは委員から質問・意見はありませんか。

A委員：47Pの主な取組2について“青少年育成活動“ではなく青少年”健全“育成活動が適切かなと思います。また、主な取組3の“地域学習“も”郷土“学習がより使うかなと思いました。

50Pの現況と課題に記載のある“スポーツを支える体制”はスポーツ“活動”を支える体制のことを指すのかなと思いますので検討をお願いします。

事務局：担当課と協議いたします。

B委員：35Pの現況と課題について、課題と対策が交互に書いてあり前後しているため読みにくいと感じた。また、厳しい情勢の原因として記載があった農産物の価格低迷や資材価格高騰に対する記載がない。

そして、いきなり林業が出てきているので読みにくいと感じる。

事務局：今回、大きく内容を変えていただいております、担当課からの方針を記載していただいております。

そのなかで、農業従事者にしかわからない言葉などもあるかと思っておりますので、原課と協議して整理させていただきます。

C委員：パブリックコメントが今回なかったとのことですが、過去の総合計画にはパブリックコメントがあったか教えてください。

事務局：記憶の話になりますが、第3次はコメントがっております。1次～2次につきましては今わかりません。

D委員：46Pの成果指標達成に向けて、令和7年度からAIの活用による英語教科書に取り組んでいるとのことですが、令和8年度も継続される予定でしょうか。

事務局：今回、令和7年度は国の採択もあり実施しているところです。来年度も事業申請を行っているそうですが、受けられなかった場合などは、現在予算査定中ということもあり結論が出せません。

原課としては単年度ではなく引き続き行えるように努力されています。

E委員：38P主な取組の2について、各種支援を行います。と記載があるが具体的にどんなものを行うのか記載した方が良いかと思っております。

事務局：抽象的で分かりにくいということですが、担当課によって表現や文章にばらつきがあるため、再度調整をかけさせていただきます。

C委員：34Pの現況と課題に記載のあるインセンティブ事業について、同じように50Pのスポーツ関連にもインセンティブ事業ができないかと思っております。

福富中学校体育館からスポーツ施設に変わったのもあるので、利活用も含めて横に展開ができないかと思って提案させていただきます。

事務局：今回福富中学校体育館跡地にスポーツ施設がありますが、あくまで民間企業であり、こちらにインセンティブ事業を入れ込んでいくのは難しいと考えております。

F委員：30Pの成果指標について地域サロン数の増加目標を記載されているが、地域サロンは自治公民館単位であったり行政区単位でされてることが多いので、他の地

区から来ていいですよといった体制になっていないと思います。そのため、自主防災組織のように世帯カバー率とかの目標の方がいいのかなと思います。

事務局：町内には、有明サロンさんが有明地域全般で取り組まれているところもあり、原課としてはサロン数をまだ伸ばせるという考えで目標設定をされてあると思います。

世帯カバー率ということで提案いただきましたが、原課と調整協議を行わせていただきます。

B委員：25Pの主な取組2について、学校再編に伴う通学路、道路交通網の整備とあるが、この道路網についても学校再編が関連しているのかお聞きしたい。

もう一点、26Pの現況と課題に記載のある民間の路線バスとJR長崎本線について、なぜ片方は民間と伏せてあり、片方は名前が出ているのか気になりました。

また、公共交通機関の確保と維持の両方が記載してあるが、維持は現存の交通機関を維持していくということだと思うが、確保と聞くと新たな交通機関を追加するように感じられ混在しているように思われる。

事務局：25Pについては、通学路に加えて町全体の道路整備といった意味合いで書かれていると思います。こちらも原課に確認をいたします。

26Pの件については、令和11年度までの目標ということで公共交通自体ではなく、公共交通の“本数”を維持していくということだと思います。この部分についても今後修正をする必要があるかなと思います。

E委員：私からも少し説明を、民間の路線バスというと祐徳バスが運行されている路線を指しています。町内の路線バスがあるため区分けするために特別な形で書かれているのではと感じました。

A委員：59Pの文言について、国際交流や多文化理解などの表現があると思いますが、おそらく、国際交流は国と国、都市と都市などが交流するという表現であり、個人であったり小さくなってくると多文化理解になるのかなと思います。

それを踏まえて、現況と課題を少し見直す必要があるのかなと思います。

事務局：今回、新たな施策として提案しておりますが、総合戦略課と学校教育課の2課にまたがり作成しておりますのでバランス調整をおこない文言についても再度調整させていただきます。

F委員：22Pについて消防団員能力向上ということで訓練研修を充実させると記載がありますが、若手の減少、30・40代の負担感などがアンケート調査であったと思いますが、そういった内容も組み込んでいいのではと思います。

例えば、屋内で開催する等具体的に記載してもいいのかなと思います。

何かそういう見直しも進めていくという部分がちょっとあってもいいのかなと感じます。

G委員：近年、想定できないような災害等も起きています。コロナ渦に訓練などが簡素化や中止などで行えておらず、最近は元の状態に戻っているように感じられます。
そのうえで、訓練の質や違う取組も入れていこうかなと考えているところです。

会 長：(2) 実施計画案について

事務局：～資料をもとに説明～

～質問なし～

会 長：(3) その他について

事務局：次回開催日のお知らせ

令和8年2月12日 19:00～ 楽習館2F 研修室

事務局：今後の流れについて説明

事務局：今回資料を当日お渡ししましたので、ご質問がある場合は意見フォームまたは企画財政課までご連絡ください。

○閉会